

道 徳 学 習 指 導 案

東広島市立小谷小学校
指導者 田川 恵子

1 日 時 平成30年 6 月29日（金） 第2校時

2 学 年 第6学年 計39名

3 主題名 相手を尊重する心 【B 礼儀】

4 ねらい ホテルの従業員として働く主人公が感じた、心にふく二つの風の違いについて話し合うことを通して、礼儀は社会生活を営む上で欠かせないものであることに気づき、相手の気持ちを考えて心のこもった適切な言動をしようとする実践意欲を育てる。

5 教材名 「心にふく風」【出典：「みんなの道徳6年」学研】

6 主題設定の理由

本主題は、内容項目のB「主として人との関わりに関すること」の（9）「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること」に当たる。高学年の段階においては、礼儀のよさや意義について知識としては理解できていても、恥ずかしさなどもあり、時として心のこもった挨拶や言葉遣いが行為として表れない場合も出てくる。このような時期であるからこそ、礼儀は社会生活を営む上で欠かせないものであることに気づき、相手の気持ちを考えて心のこもった適切な言動をすることが必要である。

本学級の児童は、心のこもった挨拶や言葉遣いの大切さは、ほぼ全員が理解できている。児童の学校生活についてのアンケートにおいても、挨拶や言葉遣いなどの質問項目に対し肯定的評価をしている児童は8割を超えていることから、自分はそれらがきちんとできていると感じている児童が多いことが分かる。しかし、自分がよく知らない地域の方や外部からの来校者などに対しては、挨拶をしなかったり、挨拶をしても声が小さかったり目を合わせなかったりするなど、心のこもった適切な言動をしているとは言い難い状況である。

本教材は、ホテルの従業員として働く主人公が、接客を通して感じた心にふく二つの風の違いについて考えるという内容である。誰に対しても、相手の気持ちを考えて、心のこもった適切な言動をすることの大切さを学ぶためにふさわしい教材である。

指導に当たっては、導入において、児童が事前に行った感想を基に本時のめあてを設定する。

展開前半において、まず、男の子と女の子の言動の違いについて話し合う。2人の言動を対比させることで、本教材における道徳的問題に気付かせる。次に、2人の言動に対する思いを考えさせることで、相手に対する心が言動に表れることに気付かせる。

展開後半において、自分が知らない人に対して心のこもった接し方をする必要があるのか考えさせることで、礼儀は社会生活を円滑に営むために欠かすことができないものであることに気付かせる。最後に、これまでの話合いを振り返りながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深める。ワークシートに自分の考えを書き、交流することで、納得解をもたせる。

終末において、まず、見付けタイムでは、これからの自分の生活に生かしたいことを具体的に考え、付箋紙に書かせる。次に高め合いタイムでは、3人1グループになり、道徳スケールを用いて相互評価を行う。相互評価の話型など明確にし、それを意識しながら肯定的評価やアドバイスを行うことで、有能感を高めることができるようにする。最後に見つめタイムでは、高め合いタイムでの話合いを踏まえ、自分のこれからの生活に生かしていきたいことと、大切にしたい気持ちを書かせる。このことで、ねらいとする道徳的価値を自分なりに発展させることへの思いを培うようにする。

7 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き 【○基本発問 ◎中心発問】	○指導上の留意点
導 入	1 児童が事前 に書いた感 想を基にめ あてを決め る。 (3分)	(児童の感想の例) ・自分も、男の子と同じような経験があるから、気を付けたい。 ・相手を見て、きちんとお礼を言うと、心が温かくなることが分かった。	○児童の感想を基にめあてを決めることで、学習意欲を喚起するとともに、学習に対する必然性をもたせる。

		○知り合いでもないお店の人に、女の子のような言動をしたことがありますか。	○ねらいとする道徳的価値に対して自分自身を振り返らせることで、一人一人に課題意識をもたせる。
		相手の心に南風をおくるために、どんな気持ちが必要なのだろうか。	
展 開	2 教材「心にふく風」を読み、話し合う。 (30分)	○男の子と女の子の言動は、どこが違うのでしょうか。 (教材を読む時間を含め、7分) 男の子 ・だまって受け取る ・目を見ない ・お礼を言わない ・話をやめない ・片手でお盆にのせる 女の子 ・お願いしますと言う ・目を見る ・お礼を言う ・話をやめる ・両手でお盆にのせる ・にっこり笑う ○男の子と女の子が、そのような言動をしたのはなぜでしょうか。(6分) 男の子 ・はにかしいから ・あまり知らない人だから ・サービスは当たり前だから ・面倒くさいから 女の子 ・相手に感謝しているから ・相手が優しくしてくれるから ・相手に失礼だから ○知らない相手にも南風をおくる必要があるのでしょうか。また、それはなぜですか。(7分) ・必要ない。もう会わないかもしれないから。 ・必要。自分も相手もいい気持ちになるから。 ・必要。相手と仲良くなれるから。 ○相手の心に南風をおくるためには、どんな気持ちが必要なのでしょうか。(10分) ・相手に対して感謝する ・相手の気持ちを考える ・相手を大切に思う気持ちをもつ	○男の子と女の子の言動を対比させ、板書に整理することで、道徳的問題に気付かせる。 ○それぞれの言動と、それに対する思いを確認することで、相手に対する心が言動に表れていることに気付かせる。 ○普段の自分の言動は、男の子と女の子のどちらに近いか振り返らせることで、道徳的問題を自分との関わりで考えさせたり、道徳的価値を実現することの難しさを感じさせたりする。 ○礼儀の必要性について話し合うことで、礼儀は社会生活を円滑に営むために欠かせないものであることに気付かせる。 ○ねらいとする道徳的価値について自分の考えをワークシートに書き交流することで、多様な考えに気付かせ、納得解をもたせる。
	3 振り返る。 (12分) ①見付けタイム	○自分のこれからの生活の中で、今日の学習を通して大切だと思ったことを、どんな場面で生かせそうか考えて書きましょう。(3分) (例) 地域の人に、目を見て心を込めてあいさつをしたい。	○記入例を提示することで、どの児童も書き方が分かるようにする。 ○何を書けばよいか困っている児童には、挨拶や返事など、自分が毎日行っている礼儀に関する言動について振り返らせる。
終 末	②高め合いタイム	○書いた内容について、道徳スケールを使ってグループで話し合いましょう。(7分) (相互評価を行っている時の話し合いの例) 児童1) 私は、地域の人に、目を見て心を込めてあいさつをしたいです。でも、少し恥ずかしいから、大きな声でできるか自信がないです。 児童2) <u>大きい声であいさつするのは恥ずかしいよね。【D】</u> 児童3) <u>勇気を出せば、大きな声が出ると思うよ【S】</u> 児童1) 勇気がなかなか出なくて・・・。	○話し合いの話型など明確にしておくことで、スムーズに話し合いを進めることができるようにするとともに、有能感を高め合うことができるようにする。 ○書いた内容について、できる自信がないと感じることも理由を挙げて話し合うことで、人間理解や他者理解につなげるようにする。

ワークシート

	6年1組	氏名	
	番	名	
(教材名)心にふく風			

☆相手の心に南風をおくるためには、どんな気持ちが必要なのでしょう。



友だちの考えに対して「いいね！」と感じたら、赤でメモをしましょう。



見つけタイム



3つの活動を通して、今日の学習をふりかえろう

①今日の学習を、どのような場面でどんなふうに生かしたいか、ふせん紙に書きましょう。

高め合いタイム

②付せん紙に書いた内容を、道徳スケールを使いながら友だちに説明しましょう。
聞いている人は、「まほうの言葉」を使って友だちをはげましたり、アドバイスをしたり
しましょう。
※参考になった友だちの言葉をメモしましょう。

「いい考えだな」
「なるほど」
「やる気が出たな」
と感じる言葉をメモしよう。



見つめタイム

③友だちの言葉をふまえて、これからの生活に生かしたいことと、そのために大切にしたい気持ちを書きましょう。
☆これからの生活に生かしたいこと

☆大切にしたい気持ち

☆道徳の授業で大切だと思ったことを自分の生活に生かしたいという気持ちになりましたか。

とても	まあまあ	あまり	全く
4	3	2	1